

## 新たな人の流れ創出・拡大プロジェクト

### 概要

都市部の人口集中リスクの顕在化を背景とする、テレワークなど時間や場所にとられない「働き方の新しいスタイル」の普及や地方移住への関心の高まり、企業の地方分散の動きを捉え、山口ならではの豊かな暮らしの魅力を活かして、若者や子育て世代を中心とした移住・定住を促進するなど、本県への新たな人の流れを創出する

### 重点策

- 31 「住んでみいね！ぶちええ山口」ＹＹ！ターンの推進
- 32 県外人材の県内への就職の促進
- 33 地方への分散移転の動きに呼応した企業誘致の推進
- 34 ふるさと納税の推進

### (1) 成果指標の状況

| 成果指標 | 進捗状況         | 指標数 | 主な指標                             |
|------|--------------|-----|----------------------------------|
|      | ★★★★★(目標を達成) | 1   | テレワーク移住者数                        |
|      | ★★★★(計画を上回る) |     |                                  |
|      | ★★★(ほぼ計画どおり) | 1   | 転入者アンケート等による「ＹＹ！ターン」実績数(移住者数)    |
|      | ★★(計画を下回る)   | 1   | 県外人材(大学生含む)の県内就職者数(山口しごとセンター登録者) |
|      | ★(計画から大幅に遅れ) | 1   | 県外在住者からのふるさと納税寄附件数               |

### (2) 県民実感に係る調査結果

| 調査区分       | 調査項目                         | そう思う | どちらでもない | そう思わない |
|------------|------------------------------|------|---------|--------|
| 県民実感度調査(%) | 県外の移住者を増やすための取組が進んでいると思いますか。 | 16.1 | 44.5    | 37.4   |

### (3) 主な取組と成果

#### 主な取組と成果

#### ◆「住んでみいね！ぶちええ山口」ＹＹ！ターンの推進

- 移住フェアへの出展や、ＹＹ！ターンセミナー等の開催、やまぐち暮らし・しごと支援センターでのオンラインによる相談対応などの取組に加え、本県からの転出者が最も多い福岡県に「やまぐち暮らし・しごと福岡支援センター」を設置し、相談体制を強化。

移住者数 17,296 人(R4～7年度) (目標：25,000 人(R4～R8年度))

- 県庁1階の「やまぐち創生テレワークオフィスＹＹ！ＳＱＵＡＲＥ」と山口宇部空港内の「やまぐちワーケーション総合案内施設ＹＹ！ＧＡＴＥＷＡＹ」を核に、県内関係施設とのネットワーク化を図るなど都市部テレワーカーの受入れを推進。

テレワーク移住者数 344 人(R4～7年度) (目標：150 人(R4～R8年度))

#### ◆県外人材の県内就職の促進

- 県内外での就職説明会の開催や就職支援協定校との連携強化など、県外人材の **UJI ターン就職に向けた支援を実施。**

県外人材(大学生含む)の県内就職者数：739 人(R4～R7年度)

(目標：1,200 人(R4～R8年度))

- **首都圏在住者向けに移住創業セミナー**による情報発信や個別相談会を実施。
- **移住・創業支援金**により移住者の受入を促進。
- 産官学金からなる「山口県外国人材確保定着強化協議会」を新たに設立し、人手不足解消に向け、外国人材の確保・定着に取り組む県内企業への支援体制を構築するとともに、各種支援事業を展開。

#### ◆ふるさと納税の推進

- 寄附者とのつながりを重視した寄附の募集の取組として**クラウドファンディング型ふるさと納税**を実施し、目標金額を超えるご支援をいただいた。さらに、新たな**ふるさと納税ポータルサイトを活用**し、寄附窓口を増やすことで**寄附者層の拡大**につながった。また、庁内**ワーキンググループ**や、県内各市町との**ふるさと納税ミーティング**を実施し、**連携体制の強化**を図りつつ、県外イベントにおいて本県へのふるさと納税の広報に努めた。

## (4) 総評

総評

新たな人の流れの創出・拡大に取り組んできた結果、移住者は年々増加しているものの、本県の転出超過は拡大が続いており、県外流出の大半を占める若者や子育て世代に焦点を当て、呼び込むことができるよう、市町等とも連携しながら、取組を強化していくことが求められている。

## (5) 課題と今後の展開方向

課題と今後の展開方向

#### ◆「住んでみいね！ぶちええ山口」ＹＹ！ターンの推進

- 本県では、若年を中心とする社会減の拡大により、人口減少が加速し、あらゆる分野で人手不足が深刻化しており、その対策が喫緊の課題となっており、若者や女性の県内への還流と定着を促進する必要がある。
- そのため、若者・女性を中心として、移住に際しての不安、特に「しごと」と「すまい」に関する不安の解消に取り組むとともに、若者の転出超過が多い福岡県などからの移住・定住の促進に向け、デジタル技術の活用や関係部局との緊密な連携により、取組を強化する必要がある。

#### ◆県外人材の県内への就職の促進

- 若者や女性の県外流出が課題となっていることから、県外就職支援協定校をはじめとする県外大学等との連携強化や、対象地域を拡大した移住支援金の活用により、県外人材の県内就職を促進する必要がある。
- 育成就労制度への移行を見据え、制度変更へ県内企業が円滑に対応できるよう、協議会を核として、関係機関と連携した企業支援を充実させる必要がある。

#### ◆ふるさと納税の推進

- 国の返礼品地場産品基準が年々厳格化されているが、引き続き庁内関係課や市町との連携により、本県の特産品や自然、文化を感じられる魅力的な返礼品を充実させるように努める。また、寄附者の利便性を向上し、寄附件数の拡大につなげるため、寄附金控除の手続きであるワンストップ特例申請のオンライン受付を開始する。県人会・同窓会等各種ネットワーク・県外イベント出展などの従来の情報発信の取組に加え、新たなポータルサイトを活用し寄附窓口を増やすことで寄附件数増加を図る。さらに、寄附者に共感の得られる用途を設けるため、クラウドファンディング型ふるさと納税を募集し、寄附者とのつながりを意識した取組を進める必要がある。

## (参考) 令和8年度の主な新規・拡充取組

### 新 女性をターゲットとした情報発信・受入体制強化事業

- YouTube チャンネル「山口のリアル発信チャンネル（仮称）」の制作
- 福岡県でのやまぐち移住フェアの開催
- 市町による女性移住者の居場所づくりへの支援